

我国での活断層による直下型大地震

1586年1月18日	天正大地震	近畿全域	犠牲者 4万 5000人
1596年9月5日	慶長伏見地震	京都中心で近畿全域	犠牲者 3万人
1662年6月16日	近江・山城地震	近畿全域	犠牲者 2万人
1766年3月8日	津軽地震	東北北部	犠牲者 1500人
1847年5月8日	善光寺地震	信越地方	犠牲者 1万人
1891年10月28日	濃尾地震	中京南部	犠牲者 7000人
1927年3月7日	北丹後地震	近畿北部	犠牲者 3000人
1943年9月10日	鳥取地震	山陰地方	犠牲者 1000人
1945年1月13日	三河地震	中京南部	犠牲者 2300人
1948年6月28日	福井地震	北陸	犠牲者 3700人
1983年10月31日	鳥取県中部地震		犠牲者
1995年1月17日	阪神・淡路地震		死者 6402人
2000年10月6日	鳥取西部地震		負傷者 182人
2004年10月23日	中越地震	新潟県川口町震源	死者 68人



1995年1月17日 阪神・淡路大震災 燃える神戸市

直下型地震の例の1部に過ぎない。また記録されていないモノも多く、記録の正確さも曖昧で大凡の見当値です。

だが活断層の盆地に地震が多いのは確かで、科学的な根拠がなくとも盆地に地震が多いのは経験から承知していたと思うが、それでも人々が集まってきて住み着いたのは、生活がし易かったからです。活断層の上には隆起した山地から流出する土砂によって扇状地ができ、その背後には張り出した小さな尾根が上下運動で切り取られて三角末端面が並び、更に背後の山地は、上面が水平に近い山脈となる。尾根が水平に近い性質を持つことが定高性があるという。

扇状地は清らかな湧き水に恵まれ、見晴らし良い最高の住宅地となり竹林が増える。

扇状地の中、下流は畑作、その下が水田、良質な米と扇状地の湧き水は最高の銘酒(伏見)を生む、これら全ての条件を兼ね備えたのが京都盆地です。